

## 京都市外国籍市民等意識・実態調査業務委託に係る公募型プロポーザルにおける質問への回答について

| No. | 質問内容                                                                                                                | 回答(京都市)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | 仕様書3(1)ウについて、サンプル数各1,000件は必須ですか。それとも目標でしょうか。                                                                        | あくまでも目標値として考えておりますが、本調査の有効性担保のため、サンプル数として各1,000件超の回収が望ましいと考えており、予算の範囲内で可能な限り各1,000件の回収となるような御提案をいただきたいと考えています。                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 2   | 仕様書3(1)エについて、調査言語ごとの調査票の想定印刷部数をご教示ください。<br>(「やさしい日本語●部、中国語●部、韓国語●部、英語●部…」とそれぞれの部数を知りたいです)                           | 対象者の国籍に応じた言語とやさしい日本語との計2言語分(対象言語がない場合は、英語とやさしい日本語の2言語)を送付することを基本と考えておりますが、これまでの受注業務等の実績から、回収率向上の観点で送付言語について異なる考え方があれば、理由等を含めてご提案をいただけますと幸いです。今回は無作為抽出調査を予定しており、印刷部数把握に向けては、本市における国籍等の情報について、以下URLからご参照ください。<br><a href="https://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/cmsfiles/contents/0000193/193275/aaaaaa.pdf">https://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/cmsfiles/contents/0000193/193275/aaaaaa.pdf</a> |
| 3   | 仕様書3(1)エについて、日本語(やさしい日本語)にはルビ振りが紙・WEBともに必要でしょうか。                                                                    | 母国語となる対象言語がない方に、やさしい日本語と英語をお送りすることを想定していますが、回収率向上の観点からも、最低限の「やさしい日本語」の対応として、紙・WEB問わずルビ振りは必要と考えております。                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 4   | 仕様書3(2)ウ(イ)について、WEB調査システムではIDやパスワードを入力してログインする形を想定されていますか。対象者ごとに異なるIDやパスワードを設定しない場合は、WEB調査の回答と郵送回答の重複を除外することができません。 | お見込みのとおり、重複回答を除外するためWEB調査においては、対象者ごとに異なるID及びパスワードを付与ログインいただく仕様が基本として考えておりますが、目的を達成しつつ、経費削減・効率化等の観点から、よりふさわしい方法等がありましたら、御提案をいただきたいと考えています。                                                                                                                                                                                                                                                |
| 5   | 仕様書3(2)ウ(カ)について、外国籍市民にはやさしい日本語と国籍に応じた言語で作成された調査票を送付する想定ですか。または、やさしい日本語の調査票を送付し、希望者に対して他の言語の調査票を送付する想定ですか。           | 上記質問番号2のとおり、対象者の国籍に応じた言語とやさしい日本語との計2言語分(対象言語がない場合は、英語とやさしい日本語の2言語)を送付することを基本として考えております。                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 6   | 仕様書3(2)ウ(キ)について、督促ハガキの発送数・仕様などは受託者側にて決定可能ですか。                                                                       | 特に定め等は考えておりませんが、回収率向上及び円滑な調査実施(クレームの削減等)の観点から、督促はがきのあり方を御提案いただきたいと考えております。                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 7   | 仕様書3(2)カ調査結果の集計についてクロス集計は、何問程度を想定されていますか。                                                                           | 特に定めておりませんが、本委託業務の趣旨や在留外国人を取り巻く状況の変化や課題等を踏まえて、今後本市における政策策定に資する分析ができるようなクロス集計及び分析を期待しており、クロス分析の具体的な提案等があれば、提案書に盛り込んでいただけますと幸いです。                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 8   | 仕様書4納品成果物の調査結果報告書【概要版】(パンフレット)のパンフレットはどの様なものを想定されていますか。ページ数やデザイン等の参考になるものがありましたらご提示をお願いします。                         | 特に定めておりませんが、20ページ前後のカラー刷りで、外国籍市民及び日本人ごとの分析やクロス分析等を含む形で、調査の概要や各分野における動向等を把握できるよう、グラフや表を用いるなどインフォグラフィックスに配慮した内容でのパンフレットを制作いただきたいと思います。                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 9   | 仕様書4納品成果物の調査結果報告書の想定ページ数はどの程度ですか。                                                                                   | 調査概要、結果概要、本市の外国籍市民の概況、結果分析、自由記述、集計表、質問票等の項目を含めていただくことを最低限と考えており、目標とするページ数などはございませんが、前回本市で同趣旨の調査を実施(対象は外国籍市民のみ、設問数50問)した際は、約300ページほどの調査結果報告書を作成いただいております。<br>参考までに前回調査についての報告を以下にお示します。<br><a href="https://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000031528.html">https://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000031528.html</a>                                                                    |